建築研究所ニュース

令和７年１１月７日

建築研究所の最近の研究活動等について報告しました。

～建築研究所 第２３回 専門紙記者懇談会の開催～

令和７年１１月６日に、建築研究所 第２３回 専門紙記者懇談会を開催いたしました。

建築研究所では、活動状況を広く知っていただくための取組みの一つとして、平成２０年度から住宅・建築・都市に関係する専門紙の記者の方々をお招きし、最近の研究活動等について紹介しています。

今回の報告事項は、下記の通りとなっており、弊所ホームページに資料を掲載いたしましたので、ご覧ください。

記

（報告事項）

■カーボンニュートラル関係

１．中高層木造建築物の社会実装の促進に資する研究開発

２．誰もがわかる快適な家の新しいものさし

～従来のＵＡ値・ηＡ値にかわるわかりやすい室内温熱環境の指標を提案します～

３．都市部における壁面太陽光発電の普及を見据えた調査研究を開始

～都市更新と PV 普及、どう両立する？～

■DX 関係

４．中高層木造建築を支える生産システムの研究

～ドイツではいかに木造プレファブリケーションが定着しつつあるか～

■災害対策関係

５．火災時のエレベーター利用避難の実用化に向けた研究

～ナッジを活用した避難者行動の自然な制御～

６．木造住宅の水害低減に資する性能評価技術の開発

７．輪島市で実施した能登半島地震の余震観測

～能登の地盤がもたらす「周期１秒」の強い揺れ～

■その他

８．子育て世帯の住まいと家計に関する研究

～子育て世帯の家計負担を統計に基づき精緻に分析～

９．令和８年２月２０日「建築研究所講演会」の開催について

（上記報告事項の資料掲載 URL）

https://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/press/2025/index.html

以　上

（問合せ先）
国立研究開発法人建築研究所
所属　総務部総務課
氏名　會津　悟
電話　029-879 -0605（直通）
E-mail　aizu-s2qa@kenken.go.jp